



発行: つちはし社会保険労務士事務所
〒770-0815 徳島市助任橋 3-3-1 田村ビル 2F
TEL 088-611-5558 FAX 088-611-5580
Email: sr@tsuchihashi-siki.com 発行日: 2017年12月1日

トピのクロス 確定拠出年金の掛金 拠出の単位が年単位に（平成30年1月～）

確定拠出年金の掛金は、月単位で拠出することとされていますが、平成30年1月からは、年単位で拠出することが可能となります。

どのような改正が行われるのか、確認しておきましょう。



確定拠出年金制度の改正／掛金の拠出単位の年単位化

<改正のポイント>

	改正前	改正後
掛金の拠出時期	月単位で毎月	年1回以上、定期的に
拠出限度額の考え方	1月につき拠出できる掛金の額	1年間に拠出できる掛金の額の総額 (改正前の拠出限度額[月額]×12)
掛金の納付期限	翌月末日まで	・企業型確定拠出年金 企業型年金規約で定める日まで ・個人型確定拠出年金 個人型年金規約に定めるところによる

<解説>

確定拠出年金の掛金は、現在、月単位で拠出することとされていますが、来年1月からは、12月から翌年11月までの1年間を単位として、複数月分をまとめて拠出することや1年間分をまとめて拠出することが可能となります。

なお、納付は、上記の1年間を翌月にずらした“1月から12月まで”の範囲内で行うこととなります（税制の観点から、納付月ベースでは暦年が単位となります）。

注①「年1回以上、定期的に拠出」の要件を満たせば、年2回といった拠出も可能です。これまでと同様に毎月拠出とすることも可能です。

注②この改正は、平成30年1月から施行されるため、平成29年12月分の掛金（平成30年1月納付分の掛金）は、年単位化による拠出の対象となりません。したがって、改正初年においては、平成30年1月から11月まで（納付月ベースでは2月から12月まで）の11か月間が年単位化の対象となります（その期間の拠出限度額は、「改正前の拠出限度額[月額]×11」）。



この改正により、ボーナス月にまとめて掛金を納付するなど、加入者のニーズに合った掛金の納付が可能となります。

既に実施されている企業型DCで導入するためには、納付期限などについて、企業型年金規約の変更が必要となります。

トビのろス 業種別年末賞与 支給労働者 1人平均支給額

そろそろ年末賞与の季節を迎えます。ここでは厚生労働省の調査結果から、業種別に事業所規模 5～29人と30～99人の事業所における平成28年の年末賞与について、支給労働者1人平均支給額(以下、1人平均支給額)などをご紹介します。



5～29人は減少、30～99人は増加に

主な業種別に1人平均支給額などをまとめると、以下の通りです。

5～29人規模の調査産業計は約27万円で、平成27年に比べ1.6%の減少となりました。30～99人規模は約33万円で、こちらは0.7%の増加になりました。きまって支給する給与に対する支給割合は、どちらも1ヶ月分程度です。支給事業所数割合は、5～29人が70.0%、30～99人が91.8%となり、どちらも調査対象の70%以上で賞与を支給したことがわかります。

	5～29人	前年比	30～99人	前年比	5～29人	30～99人	5～29人	30～99人
業種	支給労働者1人平均支給額(円、%)				きまって支給する給与に対する支給割合(ヶ月)		支給事業所数割合(%)	
調査産業計	268,871	-1.6	332,114	0.7	1.00	1.08	70.0	91.8
建設業	285,652	-5.9	448,570	2.0	0.88	1.15	69.0	88.1
製造業	265,338	0.3	354,624	0.0	0.93	1.13	71.5	88.5
電気・ガス・熱供給等	542,000	-4.8	686,555	0.9	1.52	1.78	89.0	91.9
情報通信業	401,265	14.7	470,758	-6.9	1.12	1.35	69.8	94.3
運輸業、郵便業	243,633	0.6	292,619	4.3	0.90	0.94	69.1	90.3
卸売業	437,846	-4.5	480,510	2.1	1.29	1.42	81.8	95.2
小売業	199,247	-4.6	136,682	12.2	0.83	0.69	65.4	93.4
金融業、保険業	511,175	-0.2	550,432	-2.4	1.62	1.57	91.4	98.7
不動産業、物品賃貸業	401,119	2.3	446,638	5.5	1.31	1.21	83.4	89.1
学術研究等	376,511	7.1	566,606	1.9	1.22	1.40	79.0	92.4
飲食サービス業等	44,371	-16.3	51,200	-10.0	0.38	0.36	47.1	86.5
生活関連サービス業	154,447	34.0	139,267	-4.9	0.68	0.71	50.4	88.4
医療、福祉	207,836	2.8	276,969	1.6	0.99	1.17	80.0	97.3

あしがき◆つちはし事務所より

☆ クリスマスにお正月、子供の頃は心待ちにしていたこの季節も、大人になるにつれ年賀状の準備、大掃除等など「ああ大変」の気持ちが先立つようになりました。その上、経営者となればこの季節は賞与支給の時期。「業績から考えて、いくらぐらい出せるのか」「個人の頑張りをどう評価すればいいか」「よそはどれくらい払っているのか」「そもそも資金繰りは大丈夫か」等など、私も小さな事務所の経営者として悩みは尽きないところです。そこで、今月は各業種の昨年の冬季賞与の実績をご紹介します。世間相場を目安として参考になさってください。

☆ 経営者にとっては頭痛のタネかもしれない賞与も、立場変わって働く人にとってはクリスマスプレゼントとお年玉を合わせたような楽しみのはず。たとえ、ローンや生活費の支払にすぐ消えていくとしても…。

だとすれば、さらに楽しい気持ちで受け取れるよう演出を考えるのも一つの方法かもしれません。

半期のMVP社員を選んで表彰したり、お客様からの感謝の声を社員にフィードバックしたり…。

子供をクリスマスプレゼントで喜ばせる方法を考えるように、社員さんを喜ばせる方法を考える経営者の下で働く人は、「この賞与もらったら辞めよう」なんて考えることはないのでは。

